

令和3年度 学校経営環境分析書

令和3年4月1日
三原市立沼田東小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O(支援的要因)</p> <p>【市教委】【県教委】【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校SSR推進校, 教育上特配, 水泳・書写指導など人配上の配慮がある。 ・肢体不自由児に対して介助員の支援がある。 ・特別支援学級に介助員の支援がある。 ・ICT端末が全児童・教職員に貸与された。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力的な人が多い。 ・PTA活動が盛んで, 自主的な動きができる。 ・行事等に協力的 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人会や民生児童委員等との連携 ・地域の方が協力的(外部講師等) 	<p>S(強み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然に囲まれている。 ・独自の教育活動(茶摘み) <p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱心で丁寧な仕事をしている。 ・チームで業務を進める意識が高い。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に素直で子どもらしい。 ・自己肯定感が上がってきている。 ・体力面は全体的に向上してきている。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力的な人が多い。 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りや昔の遊びなど, 学校に対して協力的な人が多い。 	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <p>【教育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用した主体的な学びにつながる授業を創造する。 ○感染症防止を図りながら, 保護者や地域の協力を得た学習・行事を展開する。 ○地域を教育資源とし, 総合的な学習の時間を充実させる。 ○豊かな自然の中で, 独自の教育活動を行う。 ○スタンダードを継続し, 教職員の意識統一と児童・保護者への周知徹底を図り, 本校の特色を作る。 <p>【学習環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○更に落ち着いて授業が受けられるよう取り組む。 ○関係機関と連携を密にし, 協力を得る。
	<p>T(阻害的要因)</p> <p>【市教委】【県教委】【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育予算が年々少なくなり, 備品の購入や修理修繕が行いにくくなっている。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育力が弱い家庭がある。 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区が広く, 通学に時間がかかる。 	<p>W(弱み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手や経験年数が少ない職員が多く, 人材育成が必要である。 <p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善が全教職員の浸透しきっていない。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ姿勢が弱い。 ・不登校等の生徒指導上の課題がある。 ・授業中に集中切れたり, 授業を受けにくく校内を徘徊したり, 校外に出る児童がいる。 ・気が緩むと廊下を走ったり騒いだりする。 ・思いやりのある言動がとりにくい児童がいる。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思の疎通がうまくいかない保護者がいる。 		<p>【学習環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室環境の整備・統一 <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業改善→学力向上 ○授業モデルなどの沼田東小スタンダードを徹底させる。 <p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○退校時間を決めて計画的に業務を行う。 <p>【連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者にも課題意識を持たせる。連携を密にし, 協力を得る。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○言葉づかいを良くし, 思いやりのある言動が取れるよう指導する。 <p>弱みを克服し, 阻害的要因を回避する解決策は</p>

2 本年度重点目標

- 1 授業改善による学力向上を図る
 - ・その学年で身に付けるべき学力を確実に定着させる
- 2 豊かな心と親和性の高い集団づくり
 - ・児童に所属意識を持たせ, 円滑な集団生活の基盤となる(規範意識・ルール・マナー等)を身に付けさせる
 - ・他者とかかわり合う場面を与え, その中で, 自己肯定感を高めさせるとともに, 相手を大切にする心と態度を身に付けさせる
- 3 授業改善による体力向上と感染症防止
 - ・児童に確かな目標を持たせ, 生涯にわたって健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現しようとする心と体を育成させる
- 4 働き方改革
 - ・教育課題に適切に対応する学校体制を再構築するとともに, 行事等の精選をし, 児童に向き合う時間を確保するとともに, 教育の質を上げる